

西東京フィルハーモニーオーケストラ 第35回定期演奏会

指揮 松村 詩史
オルガン 中川 葉音

ラヴェル 古風なメヌエット

ビゼー 歌劇《カルメン》から組曲（抜粋）

サン＝サーンス

交響曲第三番 ハ短調

《オルガン付き》

London, United Kingdom

2023年12月2日（土）16:00開演（15:30開場）

所沢市民文化センター ミューズ アークホール

全席自由席 1,000円

チケット取り扱い

ミューズ チケットカウンター 窓口販売のみ
宮地楽器

- ・保谷センター 042-421-4411
- ・アスタ田無センター 042-468-0055

車椅子席のご用意がございます。
ご希望の方は下記までお申し出ください。

お問い合わせ

- ☎ 080-1164-5253 (西田)
- ✉ ntp-koho@nishitokyo-phil.com
- 🌐 <https://nishitokyo-phil.com/>
- 📘 <https://www.facebook.com/NishitokyoPhil/>



交通案内

- 🚆 電車 西武新宿線「航空公園駅」徒歩10分
- 🚌 バス 西武新宿線「航空公園駅」東口より3分
「文化センターミューズ」下車すぐ
- 🚗 お車 関越自動車道所沢I.C.から約30分



<https://www.muse-tokorozawa.or.jp/>

西東京フィルハーモニーオーケストラ 第35回定期演奏会 [出演者プロフィール]



指揮 松村 詩史 まつむら しふみ

大阪府生まれ。慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻を卒業後、東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻に入学し、指揮を広上淳一、田代俊文、増井信貴、時任康文、三河正典、船橋洋介、ピアノを森早苗、川端千絵、ヴァイオリンを館市正克、尺八を柿塚香、音楽理論を植田彰の各氏に師事。

東京音楽大学の内外で広上淳一氏のアシスタントを務め、首都圏をはじめとする各地のオーケストラ、合唱団の指導を行う傍ら、グリーグの劇音楽《パール・ギュント》の語りを務めるなど幅広く活躍。

現在、東京音楽大学指揮研究員。西東京フィルとは、今回が初共演である。



オルガン 中川 葉音 なかがわ はのん

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科オルガン専攻卒業。オルガンを今井奈緒子、宮本とも子、宇内千晴、三浦はつみ、早島万紀子、Harald Vogel、クラヴィコードを宮本とも子、Harald Vogel、チェンバロを武久源造、通奏低音・即興演奏を宇内千晴の各氏に師事。ドイツ留学中は、毎月行われるオルガンコンサートに出演、教会での礼拝演奏の奉仕も行う。

フェリス音楽教室オルガン講師。日本キリスト教団聖ヶ丘教会オルガニスト。一般社団法人日本オルガニスト協会会員。

管弦楽 西東京フィルハーモニーオーケストラ



タクトホームこもれびGRAFAREホール(保谷こもれびホール)が建設されてから25周年を迎えました。

ホール創設と同時に西東京フィルは創設され、このホールをフランチャイズとして活動をしてまいりました。現在、こもれびホールが改修工事で休館になっているため、今回の定期演奏会は所沢市民文化センター ミューズ アークホールで開催する運びになりました。ミューズ アークホールはオーストリア・リーガー社製の素晴らしいパイプオルガンを備えたシンフォニックホールです。このホールを使用する機会をとらえて、オルガンの入った名曲、サン=サーンスのオルガン付きの交響曲第3番を演奏いたします。

プログラムは、「オルガン交響曲」をメインとして、ラヴェルの洒落た小品「古風なメヌエット」に、ビゼーの歌劇「カルメン」から「ハバネラ」「闘牛士の歌」、ヴァイオリンの美しいソロが聴きものの「ミカエラの Aria」などが楽しめるフランスものでまとめました。

指揮者は、将来を有望視されている若手の松村詩史氏と初めて共演いたします。松村氏の若々しい感性による演奏がお届けできましたら幸いです。

西東京フィルハーモニーオーケストラ 代表 西田克彦